

「大使経験者と語る国際情勢」

■ 講座の狙い

外交の第一線に立たれた特命全権大使経験者に、それぞれの体験を交えて国際情勢を解説していただきます。村田学長がホスト役をつとめます。ゲストは皆さん同志社とご縁の深い方々です。私からの講義20分、ゲスト講演40分、ゲストとのクlostーク20分、質疑応答10分で90分を構成します。



講師 **村田 晃嗣** むらた こうじ
同志社大学 法学部教授・同志社大学長

1964年神戸市生まれ。同志社大学法学部卒。神戸大学大学院法学研究科博士課程修了。1991-95年米国ジョージ・ワシントン大学留学。1998年神戸大学博士(政治学)。2005年4月同志社大学教授。2013年4月より同志社大学学長。専門はアメリカ外交・安全保障。1999年、「大統領の挫折」でサントリー学芸賞、アメリカ学会清水博賞。著書:「レーガン - いかにして「アメリカの偶像」となったか」(中公新書)など多数。

定員: **70**名 (開講最低人数25人) 受講料5回一括: **12,000円**
時間: **18:30~20:00** 受講料各回: **3,000円**

12/1 **第1回** **近藤 誠一氏** こんどう せいいち
同志社大学特別顧問 近藤文化・外交研究所代表 外務省参与
東京大学教養学部卒。1972年外務省入省。OECD事務次長、ユネスコ日本政府代表部特命全権大使、駐デンマーク特命全権大使、文化庁長官等を歴任。著書に「ミネルヴァのふくろ」と明日の日本」文化外交の最前線にて」など。富士山などの世界文化遺産登録に尽力。

12/22 **第2回** **天江 喜七郎氏** あまえ きしちろう
元 同志社大学法学部客員教授 財団法人日本国際連合協会評議員
一橋大学法学部卒。1967年外務省入省。在ソビエト連邦日本大使館公使、在ウクライナ兼モルドヴァ特命全権大使、外務省中近東アフリカ局長、外務省参与、国立京都国際会館館長等を歴任。ソウル勤務時代に日本の息子へ送った手紙を書籍化した「息子への手紙」は日本・韓国でベストセラーとなった。

1/19 **第3回** **楠本 祐一氏** くすもと ゆういち
宮内庁学典長
同志社大学法学部卒。1971年外務省入省。OECD日本政府代表部公使、在ウズベキスタン特命全権大使、在ポーランド特命全権大使等を歴任。2012年9月宮内庁学典長次長、2014年2月より現職。

2/2 **第4回** **小島 誠二氏** こじま せいじ
同志社大学法学部政治学科客員教授
東京大学法学部卒。1972年外務省入省、独立行政法人国際協力機構(JICA)理事を含め、開発協力に関連する仕事に長く携わる。アジア開発銀行(ADB)への出向を含め、アジア諸国を中心に在勤。2006年在パキスタン特命全権大使、2009年儀典長、2010年在タイ王国特命全権大使を歴任。

2/9 **第5回** **赤阪 清隆氏** あかさか きよたか
公益財団法人 フォーリン・プレスセンター理事長
京都大学法学部、英国ケンブリッジ大学卒。1971年外務省入省。2000年国連日本政府代表部大使、2003年経済協力開発機構(OECD)事務次長。2007年2月潘基文国際連合事務総長により指名され以後5年間、広報担当国連事務次長を務める。2012年3月末国連事務次長を退任。

- 第1回
11/2
月
- 第2回
12/7
月
- 第3回
1/18
月
- 第4回
2/15
月
- 第5回
3/14
月

■ 進め方
毎回の講義では、経済的謎解きに必要な各種の小道具・大道具に着目し、その見方・扱い方について考えます。謎解きの手がかりは、我々が日常的に出会う情報の中に潜んでいます。それらの手がかりをどうつかみ取るか。どうすれば、それらをつかみ取るコツがみえてくるのか。これらのことを会得すべく、新聞報道などを題材に分析と議論を進めます。各講義で具体的にどのような話題を取り上げるかについては、折々の情勢に応じて決めて行きたいと存じます。時宜性を意識しつつ、経済名探偵にふさわしい道具箱の内容を取り揃えて行く。そんなアプローチを取りたいと考えています。このような構想ですので、各回の講義ごとにここで具体的なテーマを掲げることはいけません。それは、その都度のお楽しみということにさせていただきます。ただ、各講義を通じて、ご受講下さる皆様に身に着けて頂きたいと願う謎解きの「技」は、およそ次のようなものです。
◆数字が語る経済物語の読み取り力
◆人々が語る経済物語のウソ発見力
◆経済情報の中に潜む真相解明力
◆常識の中の非常識の見破り力
◆今と昔の対比力
このような具合に道具箱の中身が充実してくれば、もはや恐いもの無しです。腕試しの意味で、最終講義では、皆様にそこまでの成果を駆使して頂き、一つの謎の解明に挑んで頂きたいと考えています。なお、既に本講座をご体験頂いている皆様は、どうぞ、リピート受講を通じて謎解き力に一段と磨きをおかけ頂ければと存じます。皆様、お待ちしております!

同志社ミニビジネススクール

「グローバル時代を読む」

～目指すは経済名探偵～

■ 講座の狙い

グローバル時代とはどんな時代か。この謎解きに、日々の経済報道や公表データを利用し挑戦してみたいと思います。受講者の皆さんに経済名探偵になっていただく。それが本講座の狙いです。いかなる場合にも、必ず真犯人を見極められる。本講座を通じて、そのような推理家としての鋭さと辣腕を身に付けていただきたいと思う次第です。



講師 **浜 矩子** はま のりこ
同志社大学大学院ビジネス研究科教授

一橋大学経済学部卒業。1990年三菱総合研究所ロンドン駐在員事務所所長兼駐在エコノミスト。1998年三菱総合研究所首席研究員・経済調査部長。2002年秋より現職。専門は「国際経済学」「国際金融論」「欧州経済論」。近著:「国民なき経済成長」(角川新書2015年4月)「もうエコノミストに騙されないために 紫炎のMBA講義録」(毎日新聞社2015年3月)「円ドル同時終焉の聲音(あしおと)」(ビジネス社2014年10月)他多数

定員: **15**名
時間: **19:00~20:30** 受講料5回一括のみ: **50,000円**

「京職人の技」

本講座は、東京で開催した2013年度の「家元講座」、2014年度の「老舗講座」の後継講座で、本年度は京都の職人にスポットライトをあてます。日本の製造業の強さの源には、長年引き継がれてきた職人のものづくりの伝統が息づいており、職人の匠の技は、TVや雑誌などでも注目されています。同志社にゆかりの深い京焼(清水焼)、手描友禅、木版画、お香の4人の職人をお招きし、実演を通じてその職人技を披露していただきます。コーディネータとの対話からは、職人仕事の内容やその裏に隠された職人の精神性や美意識への理解が深まることでしょう。この機会に、他では知ることのできない京職人の奥深い世界を、ぜひご体験ください。



コーディネータ **村山 裕三** むらやま ゆうぞう
同志社大学大学院ビジネス研究科教授・同志社大学副学長

1953年京都市生まれ。同志社大学経済学部卒。1982年ワシントン大学Ph.D(経済学)取得。野村総合研究所で企業、産業アナリストとして活躍後、大阪外国語大学地域文化学科教授などを経て、同志社大学大学院ビジネス研究科教授。専門は経済安全保障論、技術政策論、文化ビジネス。2014年より同志社大学副学長、防衛省防衛生産技術基盤研究会委員。著書:「京都型ビジネス-独創と継続の経営術」(日本放送出版協会[NHKブックス]2008年)伝統産業から文化ビジネスへ-「伝統産業グローバル革新塾」の5年間(マリア書房2012年)など。

定員: **70**名 (開講最低人数25人) 受講料5回一括: **12,000円**
時間: **15:30~17:00** 受講料各回: **3,000円**

「長歌で旅する万葉集」

万葉集の時代は、長歌がまだ文芸として生き生きとしていました。そして、額田王や柿本人麻呂、大伴家持らは大和をはじめとするさまざまな土地を歌に詠んでいます。万葉の長歌を、ことばの意味を解きほくしつつ読むことで、万葉ゆかりの土地を訪ねます。



講師 **垣見 修司** かきみ しゅうじ
同志社大学文学部 准教授

1973年奈良生まれ。1996年同志社大学文学部国文学科卒。関西大学文学研究科国文学専攻修了 博士(文学)。研究分野:万葉集を中心とする上代日本文学の研究。2009-2012 高岡市万葉歴史館 研究員を経て2013年より現職。2011年第4回萬葉学会奨励賞受賞 著作[論集] 天象の美 『美の万葉集』(高岡市万葉歴史館論集15、笠間書院)

定員: **70**名 (開講最低人数20人) 受講料5回一括: **12,000円**
時間: **14:00~15:30** 受講料各回: **3,000円**

第1回 **11/10** **加藤 泰一氏** かとう ひろかず
京焼・清水焼作家
1964年京都市生まれ。祖父の代よりの陶家。同志社大学卒業後、京都およびイタリアの研修機関で陶芸を学ぶ。「宋磁の現代化」をテーマに、青磁、白磁を中心とした創作活動を展開。日本陶芸展、現代茶陶展などの公募展に入選、受賞など多数。

第2回 **11/24** **竹中 健司氏** たけなか けんじ
木版摺師 木版画作家
1991年創業竹中木版5代目。「竹筥堂」代表取締役。京都市立芸大非常勤講師他。ポストン美術館等に作品が所蔵され、内田喜基氏との共作「ONE SHOW DESIGN (米)」BRONZE PENCIL賞を含む世界三大広告賞を受賞。

第3回 **12/8** **川邊 祐之亮氏** かわべ ゆうのすけ
友禅絵師 グラフィックデザイナー
1965年京都、友禅工房に生まれる。広告会社を経て友禅作家の父に師事。主な作品:アテネ五輪シンクロ日本代表水着、中日ドラゴンズグラウンドコート、宇宙ステーション内の桜吹雪実験、京都妙心寺塔頂 如法院襷絵、京都市交通局「洛/ス」等

第4回 **12/22** **藤本 悌志氏** ふじもと ていし
香老舗 松栄堂
1979年東京生まれ。琉球大学法文学部を卒業後、青年海外協力隊としてザンビア共和国に2年5ヶ月間赴任。2006年株式会社松栄堂入社。製造部に在りて香りの原材料や調合技術を学ぶ。2012年同志社大学大学院ビジネス研究科修了。

第1回 **11/19** **「雄略天皇・舒明天皇の歌と大和」**
万葉集巻一の巻頭に位置する雄略天皇の求婚の歌、舒明天皇の国見の歌を読むことで、大和の国の初瀬や天の香具山に思いを馳せつつ、古代の正直でかざりけのない歌いぶりをあじわいます。

第2回 **12/17** **「額田王の歌と三輪」**
「あかぬさす紫野行き…」や「熱田津に船乗りせむと…」の歌で知られる額田王の長歌「三輪山の歌」はどんなものか。関連する三輪山伝説も含めて理解を深めます。

第3回 **1/21** **「柿本人麻呂の歌と近江」**
持統天皇の時代に活躍した柿本人麻呂が、壬申の乱で荒廃した近江大津京を悼んだ「近江荒都歌」を読んで、古代の湖国を逍遙します。

第4回 **2/18** **「笠金村の歌と紀伊」**
山部赤人と同時代に活躍した笠金村が、聖武天皇の紀伊国行幸にしたがった時の歌から、古代の南海道を通った紀伊の国への旅を体験します。

第5回 **3/17** **「大伴家持の歌と越中」**
万葉集の編纂に関わったとされる大伴家持は、若いころ、北陸越中の地に国守として赴任し、五年間を過ごしました。家持の長歌には、そのときのさまざまな心情がうつらわれています。

「やる気」をどう高めるか

■ 講座の狙い

“やる気”の仕組みはどうなっているのか。どうすれば“やる気”を高められるか。さまざまな事例や実験結果を交えながら自分自身、そして部下や子どもの“やる気”を高める実践的な方法についてわかりやすく説明します。ぜひ、「やる気の達人」を目指してください。



講師 太田 肇 おおた はじめ
同志社大学 政策学部教授

1954年兵庫県生まれ。神戸大学大学院経営学研究科修了。経済学博士。公務員を経験の後、滋賀大学経済学部教授などを経て2004年から同志社大学政策学部教授(同大学院総合政策科学研究科教授を兼務)。専門は組織論、モチベーション論。個人尊重の論客として知られ、個の視点から組織や社会について幅広く発言している。著書は『がんばると迷惑な人』(新潮新書)、『公務員革命』(ちくま新書)、『組織を強くする人材活用戦略』(日経文庫)、『子どもが伸びるほめる子育て』(ちくま新書)、『日本人ビジネスマン「見せかけの勤勉」の正体』(PHP研究所)など多数。

定員: **70**名(開講最低人数20人) 受講料5回一括: **12,000円**
時間: **19:00~20:30** 受講料各回: **3,000円**

第1回
11/30
月

“やる気”の仕組み

“やる気”はどのように生まれるのか、何が“やる気”を左右するかについて、わかりやすく説明します。またモチベーションの理論を応用しながら、世の中の現象や人々の行動を解説します。

第2回
12/21
月

“やる気”の障害を取り除く

“やる気”を高めるには、まず障害を取り除く必要があります。とくに働くうえで“やる気”の足かせとなっている要因を取りあげ、どうすればそれを取り除けるかについて説明します。

第3回
1/25
月

「やる気の達人」に学ぶ“やる気”の高め方

“やる気”のある人には共通する特徴があります。それをヒントにしながら、やる気高めるには何が必要か、どうすればよいかを考えます。

第4回
2/22
月

部下や子を“やる気”にさせるには

自分の部下や子の“やる気”がない、消極的だと悩んでいる人のために、具体的な事例やエピソードなどを交えながら「やる気アップ」の方法について説明します。

第5回
3/28
月

「承認」でやる気を引き出す

“やる気”と深くかかわる「承認」に焦点を当て、なぜ認めることが大切なのか、どんな効果があるのかを説明します。私の研究結果を紹介しながら承認の実践的な技法を伝授します。

「ビッグデータ時代の統計学再考」

■ 講座の狙い

近年の情報機器、計測機器の発達により、様々な対象についての膨大な複雑なデータが得られるようになり、このようなデータをビジネスに活用するという動きが活発に行われている。本講座では、このデータの解析において中心となる統計学について既存の成果を踏まえながら再考する。



講師 宿久 洋 やどひさ ひろし
同志社大学 文化情報学部教授

1990年九州大学理学部卒業 1992年九州大学大学院総合理工学研究科修士課程修了 専攻統計学、博士(工学) 1992年鹿児島大学理学部助手 2002年鹿児島大学理学部助教授 2005年同志社大学文化情報学部助教授を経て2008年より現職。主著『関連性データの解析法』共立出版 『確率と統計の基礎I・II』ミネルヴァ書房

定員: **70**名(開講最低人数20人) 受講料5回一括: **12,000円**
時間: **19:00~20:30** 受講料各回: **3,000円**

第1回
11/12
木

ビッグデータブームと統計学

昨今のビッグデータブームについて紹介し、ビッグデータとはどのようなものなのか? 統計学の果たす役割は? について考える。

第2回
12/10
木

データの要約と視覚化

様々な種類のデータの要約と視覚化の方法について概説する。身近な数値やグラフの意味を改めて考え、ビッグデータへの適用について検証する。

第3回
1/14
木

仮説検定

統計的仮説検定の考え方について説明し、その有益性と限界について確認する。統計的に有意、第1種の過誤、第2種の過誤について考える。

第4回
2/18
木

ベイズ統計

近年、様々な分野で利用されているベイズ統計学の考え方について説明し、いくつかの応用について紹介する。

第5回
3/10
木

機械学習

近年の計算機の発達により、機械学習と総称よばれる手法の利用が盛んである。ここでは、いくつかの主要な手法について説明し、応用例を紹介する。

「昭和史と平成史」

■ 講座の狙い

昭和を終え、平成という時代に入ってから27年を経ている。にもかかわらず昭和史は私たちの関心から離れない。なぜだろうか。昭和には人類史が体験したすべてが詰まっている。平成とはそれどのように語り継ぐかの期間だが、同時に平成の人々が昭和をどう見ているかも問われている。



講師 保阪 正康 ほさか まさや
ノンフィクション作家・評論家 日本近現代史研究者

1939年北海道生まれ。同志社大学文学部社会学科卒(1963年)「昭和史を語り継ぐ会」主宰 昭和史の実証的研究のため、延べ4000人の人々に聞き書き取材を行い独自の執筆活動を続けている。2004年、個人誌「昭和史講座」の刊行で第52回菊池寛賞受賞。主な著書「昭和史七つの謎」(講談社文庫)、「昭和陸軍の研究」(上下、朝日文庫)、「あの戦争は何だったのか」(新潮新書)など。近刊は「昭和天皇実録その表と裏1」(毎日新聞社)、「安倍首相の「歴史観」を問う」(講談社)他。NHKラジオ第一-NHK-FM ラジオ深夜便(第1日曜)で「昭和史を味わう」コーナーパーソナリティ。

定員: **70**名(開講最低人数20人) 受講料5回一括: **12,000円**
時間: **13:30~15:00** 受講料各回: **3,000円**

第1回
11/13
金

昭和を総括し平成の時代内容を検証する(総論) 昭和はどんな時代だったか。平成という時代は昭和を総括し、その時代内容について検証する権利と義務が与えられている。その特権を生かしての分析を行わないのであれば、私たちは平成に生きたとはいえない。

第2回
12/11
金

昭和史論争と平成史の視点を考える

昭和という時代には幾つかの論争があった。その中から2、3の論点を改めて抽出し、平成の今からそういう論争の内容を分析してみたい。私たちは多くの史実を確認することになる。

第3回
1/8
金

昭和天皇と平成の天皇の役割を考える

昭和天皇と平成の天皇には幾つかの共通点と、そして相違点がある。改めてそれを整理し、それぞれの天皇はどのような姿勢を自らに課していたか、そのことをあからさまに語ってはいないにせよ、改めて調べてみたい。

第4回
2/12
金

平成という社会はどのような特質をもっているか

平成という社会を支配しているのは、どんな哲学・思想であろうか。よく調べていくと、そこには日本の情念と外国の思想の対立、もつれあいがあり、それが平成を生きる人の困惑につながっているように思う。

第5回
3/11
金

平成は昭和から何を学び、いかに次代に伝えていくか

平成を生きるということは、昭和の影を意識せざるを得ないが、しかし平成も時代を経るにつれ、昭和を突き放して見ていくようになるだろう。そのときに昭和は初めて歴史にと変わっていくはずである。

「ナショナリズムと国家2 トランスクリティーク」

■ 講座の狙い

ベネディクト・アンダーソン『比較の亡霊』とアーネスト・ゲルナー『民族とナショナリズム』のトランスクリティークを通じて、21世紀においてナショナリズムが人々の心をとらえ、突き動かす構造を解き明かす。同時にアンダーソン、ゲルナー両人の道具主義的アプローチの限界を明確にする。



講師 佐藤 優 さとう まさる
作家・元外務省主任分析官

1960年東京都生まれ。1985年同志社大学大学院神学研究科修了後、外務省入省。主任分析官として対ロシア外交の最前線で活躍。2009年外務省を退職。2005年『国家の畏 外務省のラスプーチンと呼ばれて』で第59回毎日出版文化賞特別賞を受賞。2006年『自壊する帝国』で第5回新潮ドキュメント賞、第38回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。『獄中記』『交渉術』『同志社大学神学部』など著作多数。最新刊に『知性とは何か』(祥伝社新書)『知の教室 教養は最強の武器である』(文春文庫)がある。

定員: **90**名(開講最低人数20人) 受講料5回一括: **12,000円**
時間: **18:30~20:00** 受講料各回: **3,000円**

■ 受講の条件

ベネディクト・アンダーソン(糟屋啓介訳)『比較の亡霊 ナショナリズム・東南アジア・世界』作品社2005年、アーネスト・ゲルナー(加藤節訳)『民族とナショナリズム』岩波書店2000年、を毎回持参すること。

第1回
10/21
水

遠距離ナショナリズム

アンダーソン『比較の亡霊』の遠距離ナショナリズムに関する言説を取りあげ、北アイルランド、ウクライナの紛争における遠距離ナショナリズムの意味について考察する。

第2回
11/11
水

耐エントロピー

ゲルナー『民族とナショナリズム』から耐エントロピーとナショナリズムの関係についての言説を取りあげ、構造化された差別とナショナリズムの関係について考察する。

第3回
12/16
水

資本主義と民族

ゲルナーとアンダーソンが、資本主義と民族の関係をどのように理解しているか、トランスクリティークによって解明する。宇野弘蔵、柄谷行人の資本概念を導きの糸にする。

第4回
1/13
水

ウクライナ紛争

2014年に始まったウクライナの内戦をゲルナー、アンダーソンの方法に従って読み解いた場合の差異がどのように現れるかを明らかにし、批判的考察を行う。

第5回
2/10
水

沖縄の自己決定権

沖縄の自己決定権をめぐる諸問題をゲルナー、アンダーソンの方法に従って読み解いた場合の差異がどのように現れるかを明らかにし、批判的考察を行う。

■ 特別講座

ビジネスパーソンのための宗教入門



講師 **小原 克博** こはら かつひろ
同志社大学 神学部教授 良心学研究センター長

1965年、大阪生まれ。マインツ大学、ハイデルベルク大学(ドイツ)に留学。同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士(神学)専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究。日本宗教学会 理事、日本基督教学会 理事、宗教倫理学会 評議員、京都民医連中央病院倫理委員会 委員長も務める。著書 宗教のポリテイクスー日本社会と一神教世界の邂逅(晃洋書房2010)『原発とキリスト教——私たちはこう考える』(共著、新教出版社、2011年)など多数

■ 講座の狙い

ビジネスがグローバル化していく中、世界各地の文化的・宗教的多様性を考慮する必要性が高まっています。誰も自分が大切にしている価値観を理解・尊重している人に心を開き、信頼を深めていきます。人を人として(単に労働力としてではなく)大切にすることのできる企業や組織は、どの世界に行っても通用するでしょう。国際社会における信頼ある人間関係の構築のために、また、現地での安全のために宗教の基礎知識と現在の課題について共に学びましょう。

特別講座 定員: **70**名 (開講最低人数20人)
11/6 時間: **18:30~20:00**
金 受講料: **3,000円**

「TOEIC® 600点からのスコアアップ対策講座」

■ 講座の狙い

現在TOEIC®550~650点位の方の多くは、英語力の基本的な力は持っている状態です。しかし、停滞することが多いのもこのスコアなのです。600点前後のスコアを出せる方がさらにスコアを高めるのに必要なのは、TOEIC®に関する知識をさらにつけることと、その知識をスキルに高めることです。さらに、今持っている力を確実にスコアに反映させるためにも、問題傾向をしっかりと押さえ、正確かつスピーディな問題処理力を身につけることがポイントになります。これらの力を磨くことで、100点以上のスコアアップ達成を実現しやすくなります。本講座では、著名なTOEIC®テスト対策講師である早川幸治氏による特別講演で高得点獲得方法について学び、モチベーションを高めた後、毎週の対策講座で各パートの傾向に沿った対策を行います。多くの企業では、「海外部門」にチャレンジする入り口を700点以上としています。このスコアを持ったうえで英語を使う環境に身を置くことで、運用力を高めやすくなります。忙しいビジネスパーソンの方にも本講座で効率的に継続できる学習サイクルを身につけ、集中的に700点前後の目標スコア獲得を目指していただけます。



特別講演 講師 **早川 幸治** はやかわ こうじ
TOEIC® 対策専門講師

IT企業(SE)から英語教師に転身し、TOEIC®対策専門講師として有名企業、大学などで教える。TOEIC®テスト990点(満点)取得。TOEIC®テストを毎回受験し、傾向をおさえた効率的な勉強法が好評。TOEIC®テスト教材執筆にも携わっている。



対策講座 講師 **前田 久美** まえだ くみ
英語講師

インターナショナルスクール高校課程卒業後、米国学で秘書科を専攻。帰国後企業勤務を経て英語講師に。以来20年以上英語教育に携わり、大学や大手企業で幅広い層のクラスを担当。明るく分かりやすい授業と英語力を定着させる指導力に定評がある。

時間 **19:00** 特別講演 定員 **70**名 受講料 **3,000円**
~ **20:30** 対策講座 定員 **20**名 受講料14回 **33,000円**
(特別講演、対策講座とも) (開講最低人数 15人) (特別講演受講費含む) +教材費 **6,480円**

*特別講演は対策講座開講が実施の条件です。あらかじめご了承ください。
*対策講座をご欠席の場合、次回講座までに会場にお越しいただき録画映像で学習していただくことができます。(講座画像の配布、レンタルはいたしません。当会場での学習のみです)

特別講演 10/26(月) TOEIC®テスト完全攻略法

TOEIC®の学習スケジュールリング方法から、試験の構成、パート毎の対策法までを自身の英語嫌克服の経験をもとに、効果的な勉強法を伝授。

第1回 11/5(木) リスニング攻略 Part1

写真描写問題練習 1問5秒以内での確実な解答を目指す

第2回 11/12(木) リスニング攻略 Part2

ディレクションの時間の有効活用 短時間で判断するスキルの習得

第3回 11/19(木) 英語基礎学習

音読トレーニング 発音できれば聞き取りもできる

第4回 11/26(木) 短文穴埋め攻略

短文穴埋め練習 選択肢から問題タイプを素早く判断するスキルを習得

第5回 12/3(木) 長文穴埋め攻略

長文穴埋め練習 文章の長さに関わらずなくするコツを習得

第6回 12/10(木) リスニング攻略 Part3

二人の人物によるトーク問題に慣れる

第7回 12/17(木) リスニング攻略 Part4

会話タイプを特定し、話の展開の予想を立てる方法の習得

第8回 12/24(木) 復習・確認

マインドセット カウンセリング 時間を測って練習問題を解く

第9回 1/7(木) リーディング攻略 1

易しいものを優先・文書に慣れる練習

第10回 1/14(木) リーディング攻略 2

冒頭を読み取り、キーワードをヒントに情報特定をする

第11回 1/21(木) リーディング攻略 3

頻出問題 手紙・メール・メモ・広告・アンケート・記事

第12回 1/28(木) 英語基礎学習

頻出単語の練習 コロケーション テクニックだけに頼らない英語力の強化

第13回 2/4(木) 総復習 1

確実に解ける問題を覚え、確実に得点を取る練習

第14回 2/18(木) 総復習 2

会話やアナウンスのストーリーを理解し、質問に確実に解答する練習

第1回 同志社大学研究開発推進機構 主催 「新ビジネス」フォーラム

ミクロ世界の探求が新時代のビジネスを拓く

自然や生体に学んだ「かしこいポリマー素材」、微小空間でのファンタスティックな「様々な動き」や「風変わりな溶媒の挙動」を紹介いたします。

■ プログラム

座長挨拶 **森下 俊三** もりした しゅんぞう
同志社大学大学院ビジネス研究科 特別客員教授
NTT西日本シニアアドバイザー(元NTT西日本代表取締役社長)
関西経済連合会前副会長、阪神高速道路株式会社取締役会長

趣旨説明 **渡辺 好章** わたなべ よしあき
生命医科学部教授

講演(シーズ発表)

古賀 智之 こが ともゆき
理工学部 機能分子・生命化学科教授
高分子化学研究室
http://www1.doshisha.ac.jp/polychem/Outline/outline-10.html

生体に学ぶ“スマート高分子材料”の開発
自然や生体を持つ構造や機能をモデルに高分子合成技術によりハイブリッド素材作り出す研究をしています。防弾チョッキに使うケブラー繊維に匹敵する強度と優れた伸度をもつ蜘蛛の糸のナノ構造をヒントにした“自己修復性材料”や生体内に薬効成分を運び患部に到達すると放出する“かしこいポリマー素材”等を紹介いたします。

山本 大吾 やまもと だいご
理工学部 化学システム創成工学科助教
分子化学工学研究室紹介:
http://www1.doshisha.ac.jp/molcheng/research.html

微小空間で起きる化学の力を利用した“様々な動き”
ミクロの世界では、界面現象を利用して自発的に動いたり、興味深い構造を形成するものがあります。例えば、水面に置かれた油滴が妙なパターンを形成したり、微小粒子はわずかな電位差を与えたり、化学反応によって回転や移動させ起こすことができます。このような微小空間での“様々な動き”を紹介いたします。

塚越 一彦 つかごし かずひこ
理工学部 化学システム創成工学科教授
研究紹介記事:
http://www.doshisha.ac.jp/news/2014/0819/news-detail-1785.html

微小領域で生じる“溶液の風変わりな挙動”
細い中空の管の中に混合溶液を流すと、溶けている成分が管の内側と外側に分かれる現象を発見しました。管の材質に関係なく、溶液が親水性の場合、親水成分が内側に疎水成分が外側に分布し、疎水性の場合、成分は逆に分布するという風変わりな挙動を紹介いたします。

9/29 時間: **18:00~21:00** (開場17:30)
火 会場: **東京オフィスセミナー室**
定員: **50名** (対象:企業の方)
*定員に達し次第お申込み終了といたします。

<今後の予定> 11月下旬~12月 第2回「新ビジネス」フォーラム、2016年3月「新ビジネス」シンポジウム 赤ちゃん学研究センターの研究内容をご紹介します。
●お問い合わせ・お申込み
同志社大学 東京産官学連携オフィス
TEL 03-5579-9587
mail: ji-cic@mail.doshisha.ac.jp

入場無料 第33回 同志社創立140周年記念 東京新島講座

■ 講師・演題

中村 信博 なかむら のぶひろ
同志社女子大学学芸学部教授

「キリスト教教育のなかの聖書」(仮)

横川 隆一 よこかわ りゅういち
同志社大学生命医科学部教授

「ロボットは高齢化社会の助けとなりえるのか —人の運動制御と介護用ロボット—」

10/10 時間: **14:00~16:35** (受付13:30開始)
土 会場: **東京オフィスセミナー室**
定員: **100名** *定員に達し次第締め切らせていただきます。

●お申込み方法
メール、FAX、ハガキのいずれかでお申込みください。(電話でのお申込みはご遠慮ください)
住所・氏名・フリガナ・電話番号をお知らせください。複数名の場合は、全員の住所・氏名・フリガナ・電話番号をお知らせください。

●お申込み期日
2015年9月25日(金)まで

●お問合せ・お申込み先
学校法人 同志社
法人部法人事務室「東京新島講座」係
TEL:075-251-3007 FAX:075-251-4980
E-mail: ji-hojin@mail.doshisha.ac.jp

主催:学校法人 同志社
後援:同志社校友会東京支部 同志社同窓会東京支部